

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備		事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)			
市町村名	すわし 諏訪市	ふりがな 箇所名	しゅ すわたつのせん たかしま (主) 諏訪辰野線 高島			事業年度 (完了年度は見込み)	年度 ~		年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=555m W=6.5(18.0)m					H22年度末事業進捗率	0%			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%			
	H23年度実施内容						用地補償費ベース	0%			
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降					
財源内訳	事業費計(千円)	700,000	0	0	0	700,000					
	国庫支出金	385,000	0	0	0	385,000					
	その他										
	県債										
	一般財源	315,000	0	0	0	315,000					
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部	政策評価課				
			ランク	評点	ランク	評点					
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上	1,500台以上~10,000台/日未満	1,500台未満	A	A	4	4		
		代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある				0	0		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある	駅やインターチェンジが20km以上にある	駅やインターチェンジに通じる路線でない			5	5		
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である	山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する	山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない			4	4		
		観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない		2			2			
		各事業特有の必要性(安全の確保)	5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)	5.5m以上6.5m未満(幅員)	6.5m以上(幅員)			2	2		
	歩道未整備区間に歩道を設置		歩道はあるが不十分であるものを再整備	歩道整備無し	4	4					
	小計					21	21				
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)	該当なし	B	B	6	6		
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ確実性が高い	環境配慮がされているが確実性が低い	環境配慮をしていない			0	0		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域に位置付けられている	特別な位置づけはない			3	3		
	小計					9	9				
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上	B/C 1.0~1.5未満	B/C 1.0未満	B	B	6	6		
		事業効果の早期発現 (H22以降事業年数)	事業年数 5年未満	事業年数 5年~10年未満	事業年数 10年以上			3	3		
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない			0	0		
	小計					9	9				
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	A	A	9	9		
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する	渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する	渋滞対策ではない			4	4		
			医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路			9	9		
	小計					22	22				
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	B	B	6	6		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない			3	3		
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない			4	4		
小計					13	13					
費用対効果(B/C)	2.95	評価の合計			B	74	B	74			
事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、第一次緊急輸送路である国道20号と共に、東海地震時の災害拠点病院に指定された諏訪赤十字病院と救護物資の集積拠点に指定された茅野市運動公園を直結する最短ルートが構成する。また、本路線の現ルートは諏訪市街地において一方通行となっている他、国道20号と諏訪湖を結ぶ間において観光バス等大型車がスムーズに通行できる道路がない。本区間の整備により、災害時の負傷者の搬送、救護物資の輸送に有効な緊急輸送路を確保するとともに、市街地の慢性的な交通混雑の解消を図り、地域の活性化に寄与する。										
地域からの要望経緯	国道20号までの早期全線改良を市、地元区から強く望まれている。毎年地元区から未改良区間の早期完成の要望が出されている。										
事業説明等の経緯	昭和48年10月に都市計画決定され、家屋は都市計画決定線に併せて配置されている。平成11年度から水路管理者と調整を行っている。平成14年1月に地元へ計画説明を行っている。										
環境・景観への配慮項目	特になし。										
他事業・プロジェクトとの関連	第四次諏訪市総合計画、長野県中期総合計画										
特記事項	植樹帯の計画、維持管理について地域住民の提案を募り、地域の歩行者にとって愛着が持てる道路環境とする。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	必要性、緊急性の評価レベルは高い。今後計画熟度を高め、事業化を検討したい。				政策評価課	必要性は認められる。					